

計算機用日本語基本名詞辞書の概要

6F-3

桑畑和佳子* 橋本三奈子* 外池俊幸** 村田賢一*

*情報処理振興事業協会 **名古屋大学

1. はじめに

I P A技術センターでは、現在名詞辞書『計算機用日本語基本名詞辞書 I P A L (Basic Nouns)』の試作に取り組んでいる。本論文では、名詞辞書の記述項目の概要と見出し語の選定について報告する。

2. 名詞辞書の記述項目

#1 a. 彼は通訳がうまい。 [ACT]

b. 彼は翻訳がうまい。 [ACT]

#2 a. 通訳の正確さを競う。 [ACT]

b. 翻訳の正確さを競う。 [ACT]

([] 内は下線部の名詞に意味素性を与えたもの)
「通訳」、「翻訳」は話しことばと書きことばという違いはあっても、「互いに異なる言語の一方によって構成される表現を他方の言語に移しかえる」という同様な意味を持つため、形態上も統語上も似たものになる。しかし、両者が指すものは次のような例では異なってくる。

#3 a. 通訳を探す。 [HUM]

b. 翻訳を探す。 [CON]

aは通訳してくれる“人”を探しており、bは翻訳された“書物”を探していると考えられる。ここで疑問文を作ったとき見出し語が答えになる不定語をふってみると、#3-aは「誰」、#3-bは「何」となる。次の例では両者の違いが形態上にも表れてくる。

#4 a. 通訳になる。 [KND]

b. 翻訳家になる。 [KND]

「翻訳」は人や役職は指さない。そこで#4-bでは「一家」という接尾語をつけた合成語の表現をとる。このように形態、意味、統語といった観点から細かく見ること、個々の名詞がもつ性質を明らかにすることを名詞辞書では目指す。当辞書は以下に示す形態・意味・統語情報及び慣用表現より構成される。

2.1 形態情報

(1)表記

見出し語を漢字かな交じりで表す。漢字表記のないものはひらがなもしくはカタカナを用いる。

(2)異音同語

同じ意味で音韻形態に差異があるものを書く。

例：にっぽん ⇨ にほん

(3)合成語(名詞・形容動詞・形容詞・動詞・副詞)
合成語(複合語・派生語)を品詞ごとに書く。

例：期待 ⇨ 名詞<複合>-外れ
名詞<派生>御一, -感
動詞<複合>-する
副詞<複合>-通り(に)

(4)助数詞

見出し語を数えるときの数え方と、その見出し語が他の名詞を数える場合の数え方を記載する。

例：豆 ⇨ 一つ, 一粒, 一個

箱 ⇨ 一個, 一箱

一箱 [キャラメル, 煙草, …]

2.2 意味情報

(1)関連語

見出し語と非常によく似た意味をもつものうち、ほとんどの文脈で言い換えがきくものを同義語とし、それ以外を類義語として挙げる。

・同義語

例：警官 ⇨ お巡りさん

・類義語

例：子供 ⇨ 子

(煙草は [子供/?子] には毒だ。)

また、見出し語と反対・逆の意味を持つ語を対語として挙げる。対語は以下の4タイプがある。

・対語1(間に無数の中間段階があるもの)

例：安全 ⇨ 危険, 上 ⇨ 下

・対語2(間に中間段階がないもの)

例：当たり ⇨ はずれ

・対語3(動作・出来事が逆方向のもの)

例：売り ⇨ 買い

・対語4(その他)

見出し語と3~5語の組になるもの

例：春 ⇨ 夏、秋、冬

ことわざ、慣用句、決り文句などで対としてとらえられているもの

例：山 ⇨ 海

(2)不定語

見出し語が答えになるような疑問文を作り、その不定語(誰/何/どこ/いつ/どんな/どう)を記載する。

例：石 ⇨ 何 (それは何ですか?)

(3)形式名詞

「ひと/もの/ところ/とき/こと/ようす」のうち当てはまるものを記載する。

例：先生 ⇨ ひと (先生は~するひとだ。)

(4)意味記述

簡単な語釈を記述する。

(5)意味分類

I P A L独自の意味分類をふる。

2.3 統語情報

名詞には以下の文法的性質をもつものがある。これらを統語情報として記述する。

On the Lexicon of Japanese Basic Nouns.

Wakako Kuwahata*, Minako Hasimoto*, Toshiyuki Tonoike**, Kenichi Murata*.

*Information-technology Promotion Agency, Japan. **Nagoya University.

(1)項になる用法

名詞が文の中で「ガ・ヲ・ニ」などの格助詞を伴って動詞や形容詞などの述語と共起する用法。

- 例：学校に／へ行く。 [LOC]
 学校を建てる。 [CON]
 学校を創立する。 [ORG]
 学校を休む。 [EVE]

(2)サ変動詞用法

名詞に「する」が後接し動詞として働く用法。

- 例：人類が誕生する。

(3)述語になる用法

文の述語になる用法。所謂形容動詞語幹や関係性のある名詞は述語になりやすい。⁽¹⁾

- 例：太郎は健康だ。
 その本は机の上だ。
 彼はゴルフが趣味だ。

(4)連体修飾を受ける用法

次のような「外の関係」⁽²⁾の連体修飾を受ける名詞は限られているため、これを辞書に記述する。「という」や「との」の介在を必要とする名詞もあれば逆に必要でない名詞もある。

- 例：誰かが階段を降りてくる音
 映画を見に行こうという誘い
 魚を焼く匂い

また、サ変動詞用法をもつ名詞や動詞・形容詞の転成名詞に関して「名詞十の十名詞」の形を扱う。

- 例：私は一人暮らしが寂しい。
 → 私の寂しさ、一人暮らしの寂しさ
 修飾語の中に格助詞が現われるものも扱う。

- 例：若者からの人気

(5)連体用法

他の名詞を修飾する用法。

- 例：健康の秘訣、健康な身体

(6)連用用法

動詞などの述語を修飾する用法。

- 例：健康に過ごす。

2.4 慣用表現

次のような固定的な表現形式を記載する。

- ・慣用句 例：お茶を濁す、虫がいい、奥の手
 ・ことわざ 例：口は禍のもと
 ・常套句 例：穴があくほど見つめる
 もみじのような手

慣用表現の句全体が述語となって文を形成する場合は文型や共起する語を記す。

- 例：[人]ガ[過去]ヲ 水に流す。
 [人]ガ[食べ物]ニ 舌づつみを打つ。

3. 見出し語の選定

文法的・意味的特徴を基に名詞を次に挙げるカテゴリに分類し、各カテゴリから幅広く見出し語の選定を行った。(同一の見出し語がいくつかのカテゴリにまたがることもある。)尚、これまでに公開した動詞・形容詞辞書の派生名詞欄等に記述された名詞は全て挙げている。^{(3) (4)}

3.1 文法的に特徴のあるもの

- ①サ変動詞用法のあるもの 研究、移動、発見、…
 ②述語になる用法のあるもの 静か、健康、美人…

③関係性のあるもの⁽¹⁾

- ・親族名詞 父、母、子、孫、祖父、祖母、…
 ・自立性が低い名詞⁽⁵⁾ 特産、原産、本場、…
 ・相対性のあるもの⁽²⁾ そば、横、隣、近く、…

④「外の関係」の連体修飾を受けるもの

- ・発話・思考・コト^{(2) (6)} 意思、思い、気持ち、…
 ・文末名詞⁽⁶⁾ 勢い、空気、クラス、具合、…
 ・尺度を表す 音、形、色、値段、背、数量、…

⑤転成名詞

- ・動詞の派生名詞 動き、表れ、流れ、行い、…
 ・形容詞の派生名詞 甘さ、甘み、甘め、青、…

⑥修飾語の中に格助詞があらわれるもの

- ・二者関係 人気、差、類似点、関係、約束、…

⑦副詞の用法と関連するもの 今日、だいたい、…

3.2 意味的に特徴のあるもの

- ①動物 生き物、羊、犬、尻尾、貝、虫、…
 ②植物 麻、種、米、芋、柿、南瓜、桜、…
 ③食べ物 朝食、弁当、おかず、餌、和食、…
 ④身体部分 頭、手、足、目、鼻、口、胃、…
 ⑤衣服 雨具、ボタン、スーツ、袖、手袋、靴、…
 ⑥材料・物 燃料、お金、ゴミ、商品、ちらし、…
 ⑦道具 テープ、椅子、机、こたつ、棚、…
 ⑧乗り物 車、自転車、電車、バス、船、…
 ⑨建物・家屋 家、台所、畳、天井、二階、…
 ⑩場所 外国、田舎、世界、地下、地方、都市、…
 ⑪組織・団体 家庭、国、世の中、大学、会社、…
 ⑫自然物 石、火、液体、電気、鉄、山、海、…
 ⑬自然現象 春、虹、日差し、山彦、雷、風、…
 ⑭活動・出来事・状態 結婚式、テニス、環境、…
 ⑮作品 本、落書き、文章、論文、新聞、…
 ⑯仕事・役職 警官、八百屋、赤ちゃん、恋人、…
 ⑰人間属性 精神力、学力、自己、得、好奇心、…
 ⑱感情 爽快感、夢心地、情熱、友情、誠意、…
 ⑲概念 愛、悪、生きがい、真理、主体、体系、…

4. おわりに

現在およそ3000語の見出し語について執筆中である。今後は記述項目ごとに校閲を行い、平成5年3月までに辞書を完成させ、報告書およびフロピディで公開する予定である。

謝辞 共同研究者であるワーキング委員、臨時ワーキング委員の方々に深く感謝の意を表します。

参考文献

- (1)小島幸子(1992)「自立性が低い名詞と名詞述語文」『ソフトウェア文書のための日本語処理の研究-11』情報処理振興事業協会技術センター
 (2)寺村秀夫(1981)『日本語の文法(上)(下)』日本語教育指導参考書5 国立国語研究所
 (3)情報処理振興事業協会(1987)『計算機用日本語基本動詞辞書 I P A L (Basic Verbs)』情報処理振興事業協会技術センター
 (4)情報処理振興事業協会(1990)『計算機用日本語基本形容詞辞書 I P A L (Basic Adjectives)』情報処理振興事業協会技術センター
 (5)野田尚史(1981)「『カキ料理は広島が本場だ』構文について」『待兼山論叢』15 (大阪大学文学部)
 (6)新屋映子(1989)「"文末名詞"について」『国語学』159 (国語学会)